

2020年5月28日
日本生命保険相互会社

2019年度決算報告における特別損失の計上について

日本生命保険相互会社(社長:清水博、以下「当社」)は、当社の連結子会社である MLC Limited (以下「MLC」)ののれんおよび同社株式について、2019年度決算報告において、特別損失を計上することといたしました。

MLC においては、主力商品の一つとしている所得補償保険の支払増加等を背景に、収支が悪化している状況です。こうした状況を改善するため、MLC にて所得補償保険の改定や事業の効率化をはじめとした事業計画の見直しを進めております。

当社において、年度末決算に際して、足元の環境変化を踏まえ、MLC の企業価値を再評価した結果、連結決算ではのれんの減損損失 408 億円、単体決算では MLC 株式の評価損 683 億円を計上することといたしました。なお、連結決算では、単体決算における評価損は相殺消去され、のれんの減損損失のみが計上されます。

当社としては、今後も、MLC とともに業績回復に努めてまいります。

以 上